

第3期愛媛県学力向上推進3か年計画

1 策定の趣旨と基本方針

○ 策定の趣旨

本県では、「愛媛県教育振興に関する大綱（令和元～4年度）」において、子どもたちが個性を大切にしながら、確かな学力・豊かな心・健やかな体をバランスよく育み、生きる力を身に付けるとともに、社会の中で果たすべき役割や責任を自覚し、変化の激しい世界の中でたくましく挑戦していくことができるような社会の実現を目指している。

県教育委員会では、平成24年度より、市町教育委員会や学校等とともに学力向上に係る様々な取組を行ってきたことで、全国学力・学習状況調査の結果において、全国上位水準の学力を維持することができている。主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進により、愛媛で学ぶ全ての子どもたちにこれからの新しい時代に求められる資質・能力を育成していくことを目指し、第3期計画を策定する。

新しい時代に求められる資質・能力

- 生きて働く知識及び技能
- 未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力等
- 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性等

○ 基本方針

- ・ これまで成果のあった取組は継続するとともに、新たな課題に視点を当て、更なる学校教育の質の向上を目指す。
- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進する中で資質・能力の育成を目指す。
- ・ これまで以上に、学校と家庭、地域が一体となって学力向上に取り組むことができるよう、行政機関や教育機関との連携を密にし、支援体制の充実を図る。

2 目標と成果指標

○ 目標

学校教育の質の保証・向上

～ 主体的・対話的で深い学びを実現し、全国上位水準の学力を維持 ～

○ 成果指標

全国学力・学習状況調査の各教科で、平均正答率が全国平均以上である。

3 計画の期間

令和2年度から令和4年度までの3か年の取組とする。

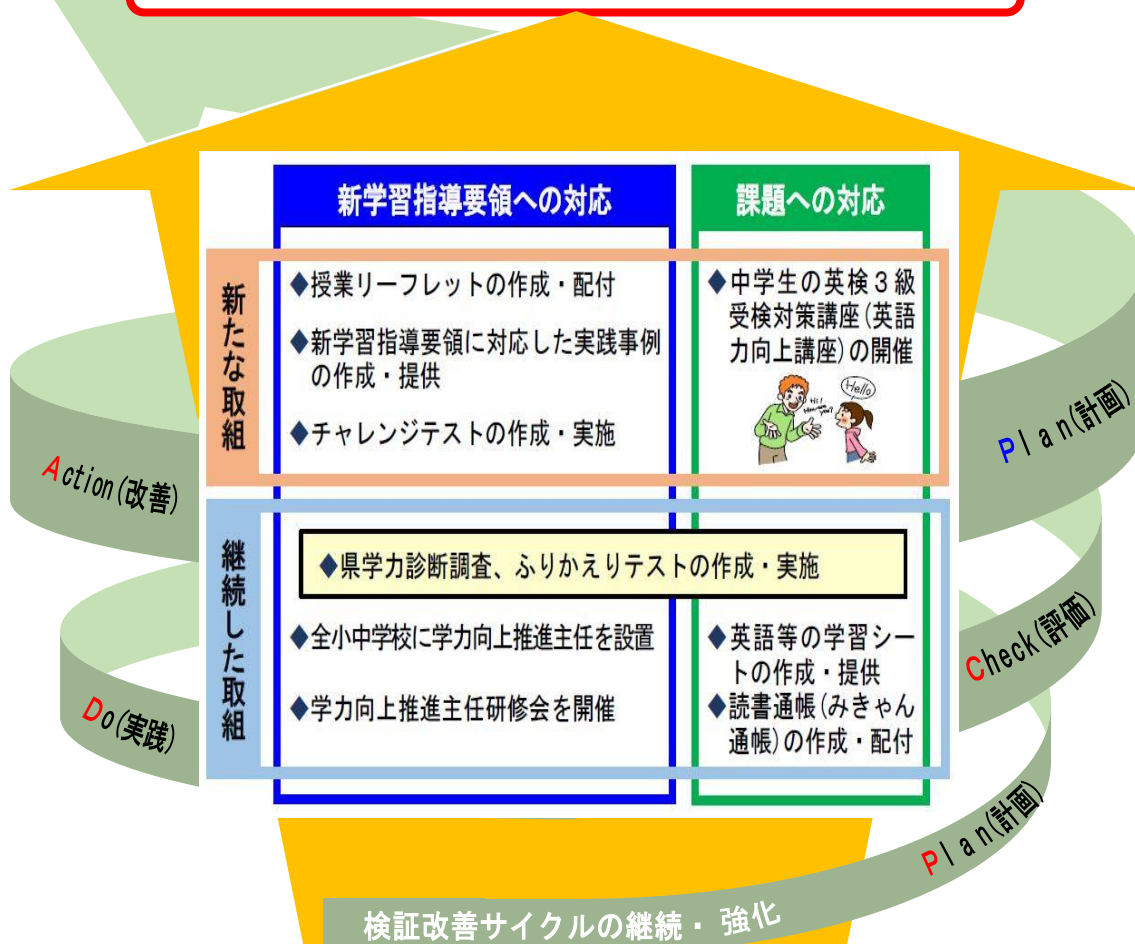
4 全体構想

目標：学校教育の質の保証・向上

～ 主体的・対話的で深い学びを実現し、全国上位水準の学力を維持 ～

【成果指標】全国学力・学習状況調査の各教科で、平均正答率が全国平均以上である。

新しい時代に求められる資質・能力の育成



主体的・対話的で深い学びの実現

授業力の強化

組織力の強化

省察力の強化

<本県児童生徒の学力の現状(令和元年度)>

- 全国学力・学習状況調査の教科別の平均正答率は、小中ともに、国語、算数・数学では全国平均以上で、全国上位水準の学力を維持。
- 中学校で実施された英語は、全国平均を若干下回ったことから、更なる授業改善が必要。

行政機関や教育機関との連携

{ 学校・家庭・地域・県教委・市町教委・大学 }

5 実施方針と具体的な取組

○ 実施方針

県教委、各市町教委、小中学校は、学力向上に係る三つの力を強化し、新学習指導要領の円滑な実施を図るため、特にこれまで効果の大きかった取組を継続実施・強化するとともに、これまでに明らかになった課題の克服など、更なる学力向上への取組を推進し、学校教育の質の保証・向上を実現する。

愛媛の教師が大切にしている学力向上に係る三つの力

- ①組織力：目標達成に向けて、組織的・計画的に実行していく力
- ②授業力：新学習指導要領に示された各教科等の目標や内容を子どもたち一人一人に確実に身に付けさせる力
- ③省察力：学力向上の取組を具体的に振り返ったり、授業のねらいに示した資質・能力が子どもたちに身に付いているかを評価したりする力

○ 具体的な取組

・新学習指導要領への対応に向けて

県の取組	市町・学校の取組
<ul style="list-style-type: none"> ◆主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業リフレットの作成・配付 ◆新学習指導要領に対応した実践事例の作成・提供 ◆各教科等で身に付けた知識や技能を総合的に問うチャレンジテストの作成・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善及び研修の充実 ■国や県の学力調査等の積極的な活用 ■各教科等の特質を生かした教科等横断的な視点による教育課程の編成

・検証改善サイクルの継続・強化に向けて

県の取組	市町・学校の取組
<ul style="list-style-type: none"> ◆知識と活用を一体的に問う県学力診断調査、ふりかえりテストの作成・実施 ◆学校の組織的な学力向上の取組を促進するため、全小中学校に学力向上推進主任を設置 ◆学力向上推進主任の見識を広げるため、学力向上推進主任研修会を開催 ◆学力向上推進計画策定への指導・助言 ◆大学やPTA、学校の関係者による学力向上の取組に対する検証 	<ul style="list-style-type: none"> ■国や県の学力調査等の積極的な活用 ■市町の学校の教育力向上推進委員会の開催 ■学校の学力向上推進計画の立案・見直し ■学力向上の取組に対する検証

・課題への対応に向けて

県の取組	市町・学校の取組
<ul style="list-style-type: none"> ◆中学生を対象とした中学生の英検3級受検対策講座（英語力向上講座）の開催 ◆英語等の学習シート（基礎力強化シート、応用力強化シート）の作成・提供 ◆子どもの読書活動を推進するため、読んだ本を記録する子ども読書通帳（みきゃん通帳）の作成・配付 	<ul style="list-style-type: none"> ■中学生の英検3級取得のための機会確保と英語力向上に向けた取組の充実 ■子ども一人一人の学力の状況を的確に把握・分析した個に応じた指導の充実 ■子ども読書通帳（みきゃん通帳）の活用等による生涯にわたり本に親しむ態度の育成を目指した読書活動の充実

(参考資料) 学力向上の取組に関する提言(令和2年1月)

県教育委員会が、平成24年度からの5か年、平成29年度からの3か年を通じて、「学校教育の質の保証・向上」を目標に掲げた学力向上施策を推進し、平成28年度以降、全国学力・学習状況調査の結果において、全国上位の学力水準を維持していることは、児童生徒はもとより、保護者、教職員、関係者の大きな喜びや自信となっている。また、このことは愛媛県として誇れることであり、県民からも一定の評価を得ているものと考えられる。

そこで、8年間の学力向上に係る事業の成果を引き継ぎ、教師の高い指導力を維持することはもちろん、児童生徒の更なる学力の向上を目指して、新たな課題を洗い出し、その対応に取り組んでいただきたい。

新計画の策定に当たって最も重視していただきたいのは、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、これまで以上に知識を相互に関連付けてより深く理解したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりする学習の充実である。また、新計画の実施期間については、グローバル化の進展や、子どもたちを取り巻く状況の加速度的な変化に柔軟に対応する必要があるため、3年程度とすることが望ましい。

そして、全国上位水準の学力を維持できていると判断する指標を、引き続き、全国学力・学習状況調査の各教科の平均正答率が全国平均以上であることとし、愛媛で学ぶ全ての子どもたちに確かな学力を身に付けることができる取組を進めていただきたい。

具体的には、以下の点を提言する。

1 新学習指導要領の円滑な実施

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進
(授業づくりに関するリーフレット、学習指導と学習評価に関する実践事例の作成・提供)
- ・小小、中中、小中等の学校間の連携した取組
- ・目標・指導・評価の一体化を意識した授業づくり

2 学力に関する検証改善サイクルを継続・強化

- ・学力向上推進主任を中心とした組織的、協働的な学力向上の取組の継続
- ・県による学力調査の継続と学習成果検証システムの維持
- ・愛媛大学教育学部など関係機関との連携

3 課題克服システムにより明らかとなった課題に対応

- ・グローバル化に対応する生徒の英語力の向上
- ・学習シートの活用等による個に応じた指導の充実
- ・読書意欲の喚起等による読書活動の推進